

# YAN

YOUNG ADULT NEWS  
Vol.83 2022/03/01

二〇二二年春号

## はじまり

ドキドキ、

わくわく

何かがはじまる…

## What's New?

YAコーナーに新しく仲間入りした本をご紹介します

『世界一くさい食べもの なぜ食べられないような食べものがあるのか?』  
小泉 武夫/著 ちくまQブックス 筑摩書房



私たちの身近にある納豆や漬物。中には「くさい!」と思う人もいるかもしれませんが、世の中にはそれらを超える究極のくさい食べものがあります。例えば、地球上で一番くさいと言われる、スウェーデン特産のニシンの発酵缶詰「シュール・ストレミング」。著者が「地獄の缶詰」と言うそれは、においも中身も衝撃的で、とても食べものとは思えないのだとか。では、どうしてそんな「くさい食べもの」があるのでしょうか。命の危険を感じるほどの刺激臭のする食べものと、なぜそんなものたちが存在するのか、気になった人はぜひ、読んでみてくださいね。

『見た目が気になる 「からだ」の悩みを解きほぐす 26のヒント』  
河出書房新社/編 青木 美沙子/ほか著 14歳の世渡り術 河出書房新社

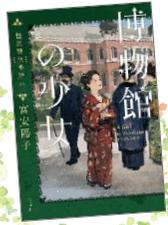
人はどうしても見た目に左右されがちです。誰も見た目のコンプレックスで悩んだことがあるのではないのでしょうか。

本書には、見た目に関する26人の考え方が書かれています。見た目は、表情の練習やおしゃれ、メイク、ダイエットなど努力で変えられるものもあります。悩み解決の糸口が見え、「そのままの自分でいい」と思える一冊です。



『博物館の少女 怪異研究事始め』  
富安 陽子/著 偕成社

時は明治。古道具屋の娘として生まれ育ったイカルは、両親を亡くし、親戚を頼って文明開化の東京にやってきます。そこで博物館のトノサマと呼ばれる老人に出会い、不思議な事件に巻き込まれていきます…。目利きの才を活かし、様々な出会いと経験の中で成長していくイカルと、謎めいた怪異×ミステリーの物語をお楽しみください。



◆表紙画像の掲載については、出版社の許諾を得ています。

長岡市立地域図書館(7館)

※栃尾地域図書館は、移転のため 3/28(月)~4/30(土)まで休館いたします。

- 互尊文庫 TEL35-7981
- 中之島地域図書館 TEL61-2165
- 西地域図書館 TEL27-4900
- 寺泊地域図書館 TEL75-5159
- 南地域図書館 TEL30-3501
- 栃尾地域図書館 TEL53-3005
- 北地域図書館 TEL22-7100

☺お問い合わせは北地域図書館へ

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp

図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

編集・発行 / 指定管理者 株式会社図書館流通センター (TRC)

『飛ぶための百歩』

ジュゼッパ・フェスタ / 作

杉本 あり / 訳

まめふく / イラスト

岩崎書店



目の見えないルーチョは、善意から差しのべられる手に素直になれず、いつも焦りを感じていました。ある時、叔母との登山旅行で同年代の少女キアラと行動を共にすることになります。目の見えない人と接することに初めは戸惑っていたキアラも、おしゃべり好きなルーチョに次第に心を開いていきます。そして、お互いが心に抱えている悩みや葛藤を知ることになります。

内気な性格で学校生活に息苦しさを感じている少女と、頼るところをよしとしない盲目の少年の、葛藤と成長が描かれています。初めの一步を踏み出したい人に、ぜひ読んでほしい一冊です。

# 春は「はじまり」の季節

今号のテーマは「はじまり」。  
ふんわりやさしい空気の匂いととも、あたたかな春を感じる今日この頃。  
寒い季節が終わり、活動的な気持ちになる人も多いのではないのでしょうか。  
何かをはじめるのにぴったりの春におすすめの本をご紹介します。



『<sup>こぼろ</sup>私立五芒高校 恋する幽霊部員たち』  
谷口 雅美／著 あわい／画 講談社

<sup>かなめ</sup>要が入学式の日在校内で道を聞いたのはもしかして、幽霊…！？  
(第1話) 写真部の<sup>はやと</sup>隼人は、放送部の下校放送をする<sup>りん</sup>凛の声になぜかイライラして…。(第5話)

どこにでもいるような高校生が主人公の、恋の「はじまり」が 11 話つまった連作短編集です。友だちの恋のゆくえを応援するような気持ちになれる、さわやかなお話。ぜひ読んでみてください。



『F ができない』  
<sup>ますい</sup>升井 純子／著 文研出版

<sup>なひろ</sup>小学校でも友達ができず、中学入学を前に不安を感じていた直大に、7 才年上の兄が「F ができるようになったら教えてやるよ」と、ギターをくれました。「F ?」と思った直大ですが、弦をはじいた時の感覚に感動し、少しずつ練習するようになります。そして、ギターをきっかけにクラスメイトや先生も巻き込んで直大の世界が広がっていき…。どんなささいなことでも、その一歩を踏み出すかどうかが大事だと気づく作品です。



『チェンジ！ ぼくたちのとりかえっこ大作戦』  
アレックス・シアラー／著 奥野 節子、佐々木 ひとみ／訳  
ダイヤモンド社

この本は、イギリスを舞台にした自分探しがテーマの冒険物語です。サッカーが苦手な主人公ビルは、世界で一番有名なサッカー選手の息子ベニーと見た目がそっくり。そんな二人が出会い、「とりかえっこ大作戦」を計画します。お互いが入れ替わったある日、史上最悪な大事件がはじまって…。最後までハラハラドキドキの 1 冊です。



『世界の終わりと始まりの不完全な<sup>しよくう</sup>処遇』  
<sup>おりがみ</sup>織守 きょうや／著 幻冬舎

その少女に初めて出会ったのは 9 年前の月がきれいな夜だった。ある日、花村<sup>とおの</sup>遠野はオカ研の仲間たちと人外の<sup>しわざ</sup>仕業ではないかと<sup>うわさ</sup>噂される<sup>りようき</sup>猟奇殺人事件の現場を訪れ、今も思い続けている初恋の少女と<sup>おとす</sup>うり二つの姉妹に出会います。このチャンスを逃がさぬよう、遠野は事件の関係者である 2 人に協力を申し出ますが、新たな被害が発生し。最後まで目が離せない、「初恋×吸血」ミステリーをお楽しみください。



『はじめての文学 宮部みゆき』  
宮部 みゆき／著 文藝春秋

ミステリーや時代小説など、幅広いジャンルで執筆している作家の宮部みゆきさん。「はじめての文学」シリーズの中の 1 冊で、著者自身が、はじめて現代の日本文学にふれる若い読者のために選んだ作品集です。元警察犬で現在は<sup>はすみ</sup>連見探偵事務所の用心棒犬をするマサが主人公の「心とろかすような」と、3 つの短編が収録されています。

本はあまり読まないという人も、この機会に、読書へのはじめの一歩として手に取ってみてはいかがでしょうか。

